

## 呼称語の変容

呉 世 平

---

### キーワード：

同志：Comrade

師匠：Master, Instructor, Teacher

親族呼称：Addressing of Relatives

ジェネレーションが高い呼称：Addressing of Older Generation

ジェネレーションが低い呼称：Addressing of Younger Generation

呼称語は、対人関係用語とも言われているように、話し手と聞き手の位置関係や話の場を最も鋭敏に反映する言語分野であり、相手をいかに呼ぶかによって、その関係は近くもなれば遠くもなる。人間関係を和やかにさせるために、どんな社会においても、相手をどう呼ぶかについて、心配りをしている。

近年、中国社会の変動は激しく、人々の価値観などにも目覚ましい変化が起きている。言語は社会的事実であり、社会の鏡とも言われている。このような激変している時代において、呼称語の使用法にどのような変化があるかを調べるために、まず、中国の大学生の間における、中国語の呼称語の使い方について考察してみた。

中国北京第二外国語学院日本語学部の学生 100 人を対象に、1994 年 1 月と 1999 年 1 月の二回にわたって、呼称語についてアンケート調査<sup>(注 1)</sup>を行った。その調査結果を見ると、いくつかの変化が見られたので、本文ではその変容を考えてみたい。

## 一. 見知らぬ人への呼びかけ

表 1

「どのように見知らぬ人に道を尋ねるか？」

	94 年	99 年
1, <u>同志</u> , 请问, 去……怎么走? (同志, ちょっとお尋ねしますが, ……へはどう行ったらいいでしょうか。)	16 %	0 %
2, <u>师傅</u> , 请问, 去……怎么走? (師匠, ちょっとお尋ねしますが, ……へはどう行ったらいいでしょうか。)	19 %	5 %
3. (呼称省略) 请问, 去……怎么走? (ちょっとお尋ねしますが, ……へはどう行ったらいいでしょうか。)	16 %	63 %
4, その他の呼称を使う	49 %	12 %

### 一. 1. 同志

まず、「同志」についての辞書の解釈を見てみよう。

《现代汉语辞典》中国社会科学院语言研究所词典编辑室 商务印书馆

1983 年版

- ①为共同的理想, 事业而奋斗的人, 特指同一个政党的成员。(共同の理想, 事業のために頑張っている人。特に同じ政党のメンバーを指す。)
- ②我国人民之间的称呼。(我が国人民の間の呼称。)

1996 年版

- ①1983 年版①に同じ。

- ②人们惯用的彼此之间的称呼。张～；～，请问您贵姓？（人々の間でよく使う呼称。張～；～すみませんが、お名前は何とおっしゃいますか。）

《中日大辞典》愛知大学中日大辞典編纂処 大修館書店

1986 年増訂版； 1992 年増訂第 2 版

- ①同志：同じ政党に属するとか、願いや信仰を同じくする者の仲間。  
②公務員に対する呼称。  
③あらたまった気分で言う時の呼称。  
④知らない人に呼びかける時に用いる。

以上のように、《現代汉语辞典》では、1983 年版の「我が国人民の間の呼称」というところを、1996 年版は、「人々の間でよく使う呼称。」と、解釈は少し変わっているが、《中日大辞典》では、1986 年版と 1992 年版には訂正がなく、両方とも「知らない人に呼びかける時に用いる。」となっている。

それでは、大学生における使用状況を見てみよう、「どのように見知らぬ人に道を尋ねるか？」という質問に対して、表 1 で分かるように、94 年の調査では、「同志，请问，去……怎么走？」のように、16 % の学生が「同志」という呼び方を使用していたが、99 年度の回答を見てみると、「同志」を使う人は 0 % となっている。

99 年度の調査によると、大学生が「同志」という言い方をほとんど使わなくなったという結果であり、社会人の間でも、「同志」という呼び方は市民権を失いつつあるようである。例えば、庶民生活に密着した 1999 年 9 月 8 日付けの《北京晩報》には、「同志」を使ったために白い目で見られてしまったという、次のような投稿があるのである。

「那日，我去一豪华商城购物，不留神，误把中年女售货员尊称为“同志”，结果在卖给我东西的同时，人家还无偿赠送白眼珠一对。（ある日，ある豪華なデパートで，うっかり中年の女性店員に敬意を込めて，『同志』を使ってしまった。そのため，品物を手に入れると同時に，『無料』で白い目で見られてしまった。」

もちろん，社会全体の使用状況を考えてみると，完全に姿を消したといえ

ない。時には「同志」という呼び方を復活させよう、もっと多く使おうと提唱しているような新聞記事もある。また、60代以上の「离休干部（中華人民共和国建国以前から革命事業に参加し、すでに定年退職した人々）」などの極限られた人々の間では、今でも「同志」という呼称が用いられているようである。

なぜ、一般の人々の間で、「同志」という呼称を用いなくなったのか。おそらく今では、人々の価値観が多様性を呈し、思想、信条、宗教なども人によって異なるようになったからと思われる。こういう時代において、全く見知らぬ人に向かって「同志（志を同じくする人）」と呼びかけていいかどうか、やはり慎重に考えなければならないのである。

## 一. 2. 师傅

まず、「师傅」についての辞書の解釈を見てみよう。

《现代汉语辞典》中国社会科学院语言研究所词典编辑室 商务印书馆

1983年版；1996年版：

- ①工、商、戏剧等行业中传授技艺的人。（工業、商業、戯曲などの分野で技能や芸を伝授する人。）
- ②对有技艺的人的尊称：老～，木匠～。 （技能や芸を持つ人への敬称：老～，木匠～。）

《中日大辞典》愛知大学中日大辞典編纂処 大修館書店

1986年増訂版：

- ①師匠。
- ②技能または実践経験を持つ人に対する敬称。
- ③先生，様：一般の人を敬っていう語。
- ④昔時，天子の師。

1992年増訂第2版：

- ①②④は1986年版の①②④に同じ。
- ③様：一般の人を丁寧と呼ぶ時。

以上のように、《現代汉语辞典》では、1983年版と1996年版には変更がなく、両方とも特殊な分野の人に対する呼び方という説明になっている。《中日大辞典》のほうは、1986年増訂版では、「一般の人を敬って言う語。」となっているが、1992年増訂第2版では、「敬って」というところを、「丁寧に」というふうに訂正している。

学生の使用状況を見てみると、94年の調査では、「师傅，请问，去……怎么走？」のように、19%の学生が「师傅」という呼び方を使用していたが、99年度の回答を見てみると、「师傅」を使う人は5%とまで減っている。

なぜ、学生たちは「师傅」を使わなくなったのか、その理由について考えてみよう。

文化大革命期には、「工人阶级领导一切（労働者階級はすべてを指導する）」、「知识分子臭老九（インテリ層は〈地主，資本家，右派などの打倒されるべき八種類の対象に次いで〉九番目の鼻つまみ物）」という言葉が社会を覆っていた。そのころは、無知であることがプラスに評価され、知識があることは災いであった。そのような時代において、「师傅」は工場の職場などで働いている労働者に限らず、指導的労働者という意味合いが強くなり、ひいては国中の老若男女、誰に対しても使える、尊敬の意味合いのある呼び方であった。

しかし、四つの近代化が推し進められている現在、科学技術などが重要視されるようになり、インテリ層は、「九番めの鼻つまみ物」という排除される対象から、今はその地位が上昇中である。大学受験競争は年々熾烈になっていることに象徴されているように、普通の庶民も知識を大事にするようになり、知識がないということはもう誇りにできることでなくなった。

今では、一時期と違って、インテリ層であることはもう隠す必要がなくなり、むしろ、誇りにしてもいいことであるから、研究者や教師などのインテリ層などは、もし「师傅」と呼ばれたら、「自分は知識がない人のように思われている」と、がっかりするだろう。そして、都会でネクタイを締めている背広姿のような男性や、流行のファッションを身につけている女性に、「师傅」と呼びかけたら、相手にされない場合もあるであろう。「先生」や「小

姐」などの言い方に比べた場合、「师傅」というのは、ダサイ、田舎っぽいとまではいかなくても、少なくとも、現代的でなく、流行とは無縁な人という感じがあるであろう。以上のような理由から、「师傅」という言葉は、慎重に考えて、控えめに使わなければならない呼称になりつつある。そのため、「同志」のように0%まで減少していないが、「师傅」の使用率は5%しかないようになったのであろう。

### 一. 3. 呼称の省略

表1の3で示しているように、94年では、16%の学生が呼称を使わないで、直接、「请问、去……怎么走？」と言うふうに見知らぬ人に道などを尋ねるが、99年度の回答では、ゼロ呼称、呼称をいっさい省略する学生の割合は63%にも上っている。

なぜ、このような変化が生じたのであろう。呼称を使わない理由として一番多くあげられているのは、「呼び方が不適當で、相手の不快感を引き起こす恐れがあるから」ということである。

「一. 1.」と「一. 2.」に触れたが、価値観も人によって多種多様であり、社会の変動も激しくなっているから、「同志」や「师傅」などのような誰に対しても使える、失礼にならないような便利な呼び方がなくなり、「先生（さま、先生）」や「小姐（お嬢さん）」などのような古い呼び方が復活したからといって、誰に対しても使えるような呼称ではない。人々はみんな「先生」、「小姐」などの呼び方を肯定的に受け入れているのではないから、人によって、「先生」や「小姐」と呼びかけられたら、「自分がバカにされている」というふうに取りうるかもしれない。

誰に使ってもさしつかえないような呼び方がなくなった現在、相手をどう呼ぶかに戸惑いを感じている学生が多くなっているということが伺える。

## 一. 4. その他

表1の4の「その他の呼称を使う」には、例えば、「爷爷，请问，去……怎么走？（おじいさん，ちょっとお尋ねしますが，……へはどう行ったらいいでしょうか。）」のように，親族呼称を使っているのがある。「爷爷」のほか，アンケートに出てきた他の親族呼称は，「奶奶，老奶奶（おばあさん）」，「大爷，老大爷，大伯，叔叔（おじさん）」，「大妈，阿姨（おばさん）」などがある。また，親族呼称以外に用いられているものには，「先生（先生，さま）」，「小姐（お嬢さん）」，「大姐（お姉さん）」，「同学（学生さん，同級生）」，「小朋友（年少の友達）」などがある。

その使い分けは，94年度の回答を見てみると，服装や外見などを規準にしている人もいるし，場所によって使い分けしているものもある。例えば，服装などがモダンで都会的である人には，「先生」や「小姐」などで呼びかけ，それに対して，地味な人には，「大爷」，「大妈」，「同志」や「师傅」などを用いる学生もいれば，また，広東省などの沿海地方では，「先生」や「小姐」を使い，内陸部では「同志」を用い，北京では「师傅」というように使い分けている学生もいる。しかし，99年度の調査結果によると，呼称を使用する場合の使い分けとしては，ほとんどの学生は，年齢を規準にしている。年上や年配の人には，「阿姨」，「大爷」；年下には「小同学」，「小朋友」というふうに。そして，「年齢の差がはっきりしない場合，いっそのこと，すべての呼称を省略する」と付け加えている学生もいる。

これは，改革開放によって，中国民衆の生活水準が急スピードで向上され，人々の外見の格差が大分縮まってきたことによる変化なのであろうか。

## 二. 若く呼ばれたい

中国の伝統的な考え方によると，親族関係にない他人に対して，ジェネレーションがより高い親族呼称を使えば，敬意の程度が高くなり，さらに，自分よりもジェネレーションの低い親族呼称を使えば，罵語になってしまうので

ある。次のエゴ (ego) を軸に、右の方へいくほど、敬意が高くなり、それに対して、左へ行くほど、軽蔑の気持ちが強くなる。

「孙子」←「儿子」←エゴ→「哥哥」→「叔叔，伯伯」→「爷爷」  
(「孙女」←「女儿」)←エゴ→「姐姐」→「阿姨」→「奶奶」

父系社会の反映なのであろうか、「孙女」「女儿」などエゴよりジェネレーションの低い、女性を表す親族呼称は問題視されず、罵語にもならないのである。

もともと、同じ漢語圏でも、香港においては、100 年間英国の植民地であったので、西洋からの影響が強く、ジェネレーションの高い親族呼称より、むしろジェネレーションの低い親族呼称のほうが喜ばれる。子供が大人を呼びかける場合、その大人の年齢よりジェネレーションの低い親族呼称で呼びかけるようにしつけられる、例えば、60 代の男性に対して、親は 2, 3 歳ぐらいの子供に「叔叔 (おじさん)」と呼ぶように教える。<sup>(注 2)</sup>

中国大陸のほうはまだ香港のように変化していない。しかし、改革開放後、欧米の文化が洪水のように中国大陸に押し寄せ、マクドナルド、ケンタッキーなどのアメリカ流ファーストフードが手軽に食べられ、テレビでは、毎日のように西洋の映画、番組が見られるようになった。人々の価値観も中国の伝統的な考え方や習慣から少しずつ変わってきているようである。

例えば、40 代ぐらいの何人かの知合いから、「子供たちに『爷爷 (おじいさん)』『奶奶 (おばあさん)』と呼ばれて大変ショックだった」ともらしているのを聞いたことがある。伝統的な考え方によれば、そう呼ばれて喜ぶはずであるが、まだ 40 代で、孫を持つ年齢に達していないのに、子供たちに「おじいさん、おばあさん」と呼ばれてしまった、これは、子供たちの目に大分老けて見えたから、ショックを受けたのであろう。

そうもらした数人はみな留学経験のあるインテリ層なので、こういう感じ方は中年以上の人の間において、どれぐらいの普遍性を持っているか、さらなる調査を待たなければならない。

さて、大学生たちの間ではどうなっているか見てみよう。



表 2

「小学生たちにどのように呼んでもらいたいのか。」

女子学生：

	94 年	99 年
姐姐 (お姉さん)	80 %	80 %
阿姨 (おばさん)	13 %	0 %
姐姐, 阿姨无所谓 (お姉さん, おばさんどっちでもいい)	7 %	20 %

男子学生：

	94 年	99 年
哥哥, 大哥 (お兄さん)	33 %	80 %
叔叔 (おじさん)	50 %	20 %
哥哥, 叔叔无所谓 (お兄さん, おじさんどっちでもいい)	17 %	0 %

まず、女子学生のほうの結果を見てみよう。「姐姐 (お姉さん)」と呼ばれたい学生は、94 年も、99 年も 80 %にも上っている。そして、「阿姨 (おばさん)」と呼んでもらいたい人が 94 年には、13 %あったが、99 年には大幅に減少し、0 %となり、「阿姨」という呼び方を好む女子学生は一人もいないという結果になる。伝統的な考え方から離れ、西洋文化に近づくスピードの速さを感じられるが、外国語専攻の学生だから、なるほどとも思われる。

一方、男子学生の間でも大きな変化があった。「哥哥 (お兄さん)」と呼ばれたい学生は、94 年の 33 %から、99 年には 80 %に上昇し、女子学生の比率と同じくなっている。「叔叔 (おじさん)」と呼んでもらいたい人は、94 年の 50 %から、99 年には 20 %に減少している。

女子学生よりも大きかった男子学生のこのような変化について、どう考えたらよいであろうか。男性はもともと外観よりもしっかりした考えや技量を持ち、内面的に頼もしい方が、良しとされていたが、近年来、「陰盛陽衰 (『陰』は女性；『陽』は男性。弱き男, 伸びゆく女)」という言葉に象徴されている

ように、軟弱な男の子が多くなったのである。内面的に勝負できなくなったから、外面的なことを気にするようになったからなのではないかと思われる。男性化粧品が市場でのシェアが伸びていることもその現れの一つと考えていいのであろう。

欧米のマンガ、アニメーションなどに囲まれて育った、現在 20 代前後の若者は、ほかの年齢層より変化のスピードが速い。今度のアンケート調査の対象は外国語大学の学生で、外国文化に接触するチャンスが多いから、一般の若者よりもさらに進んでいるかもしれない。しかし、ある意味において、人々の価値観がこれから変移していく傾向を表わしているとも考えられる。

香港や留学経験のあるインテリ層の嘆き、大学生の調査結果などを合わせて考えたら、中国においても、近い将来、ジェネレーションの高い親族呼称は尊敬語でなくなると思われる。

### 三. 大学生の間の新しい傾向

先輩に対しての呼び方は、ここ 2, 3 年今までと違う傾向が表れてきたので、1999 年にはそれについて調査を行った。

#### 三. 1. 先輩への呼び方

表 3

「あなたは中国語でどのように先輩を呼んでいるか？」(複数回答)

男女全体：

直呼其名 (名前で呼ぶ)	94 %
前辈 (先輩)	10 %
师姐 师兄 (お姉さん, お兄さん)	5 %

表 4

「あなたは後輩に中国語でどのように呼ばれているか？」（複数回答）

女子学生：

直呼其名（名前で呼ぶ）	89 %
姓＋姐（姓＋姉さん）	5 %
姓名＋姐（姓名＋姉さん）	5 %
师姐（師＋姉さん）	15 %
学姐（学＋姉さん）	5 %
姐姐（姉さん）	5 %

男子学生：

直呼其名（名前で呼ぶ）	89 %
前辈（先輩）	5 %
很少用中文称呼（中国語で呼ばれることはめったにない）	5 %
先輩，姓＋さん（日本語で）	20 %

以上の表 3，表 4 で示しているように，多くの学生は名前で呼び合っている。しかし比率はまだ低い，今まで学生の間ではあまり見られなかった「姓＋姐（哥，兄）」，「师姐」，「学姐」などの「～姐（哥）」という呼び方が現れたということは興味深いことである。

「姓＋姐（哥，兄）」という呼び方については，今まで工場の労働者，店の店員の間では使用されていたが，大学や研究所，いわゆるインテリ層では，あまりこういう使い方が見られなかった。「君子の交わりは淡きこと水のごとし」と言われているように，あまりなれなれしい感じのある呼び方を避けていたからかもしれないのである。

「师姐」という呼び方については，「現代漢語辞典」の 83 年版には収録されず，96 年版には登録されているが，その注釈は，

① 称同从一个师傅学习而拜师的时间在前的女子（師匠が同じで，自分よ

り先に入門した女性の年長者)。

②称师傅的女儿或父亲的女弟子中年齡比自己大的人 (師匠の娘, 或いは父親の女弟子で, 自分より年長の者)。

というようになっている。

《中日大辞典》愛知大学中日大辞典編纂処 大修館書店

1986 年増訂版; 1992 年増訂第 2 版

①女の弟子で自分より年長のもの。

②師の娘で自分より年長のもの。

「师傅」というのは、前にも説明したように、主に、技能を持った人への呼び方であるから、「师姐」も何か技能を身につけるために、修業している者の間での言い方となるが、大学生同士でこういう呼び方をしているのは予想外であった。

20 代前後の若者は、バースコントロール、いわゆる「一人っ子」政策が実施されてから生まれた世代であるから、80 %以上の学生は、小さい時から、兄弟がない、孤独の中で育ったものだから、兄弟の温みに飢えていることによる現象かもしれない。

### 三. 2. 学生達の受け止め方

「姓+姐 (哥, 兄)」, 「师姐」などの呼び方が現れてきたが、大学生たちはどういうふうに受け止めているであろうか、次の表 5 を見てみよう。

表 5

「後輩に「～姐 (哥, 兄)」というような言い方で呼ばれた場合、  
どんな気持ちなのか？」

女子学生：

気持ち悪い	36 %
慣れてきた	36 %
親しみや責任感を感じる	28 %

## 呼称語の変容

男子学生：

気持ち悪い	80 %
分からない	20 %

以上の表5で示しているように、女子学生の場合、36 %の人は「気持ち悪い」と感じているが、このグループにおいて、ほかのコメントとしては、「そういう呼び方に反感をいただいている」、「おかしい」、「変だと思う」などがある。それから、「慣れてきた」と感じている36 %の学生たちのコメントとしては、「最初にそう呼ばれたとき、たしかに変に思ったが、何回も呼ばれているうちに、今はもう慣れてきた」、「今はもう何とも思わないが、やはり名前で呼ばれたい」などがある。そして、28 %の学生は「親近感、責任感を感じる」と回答している。そのうち、「親しみを感じるが、なんとなく恥ずかしい思いもする」、「尊敬されているように感じるが、少し変にも思う」などと付け加える人もいる。

「親しみを感じる」とプラス的に見ている学生の比率は、「気持ち悪い」「反感を持つ」と、マイナス的に取る学生の割合と比べて、8 %ほど低くなっているが、「何とも思わない、もう慣れた」と回答している、中間的な立場を取る36 %の学生を合わせて考えたら、これから、「姓+姐（哥，兄）」、「师姐」などの呼び方が大学の女子学生の間において、早く浸透していくことと想像する。

しかし、一方男子学生の反応を見てみると、80 %の学生も「反感を持つ」「気持ち悪い」と否定的な態度を示し、20 %の学生は「分からない」と回答している。肯定的に認める人は0 %であり、女子学生の態度とは、大きく異なっている。これは、対人関係や人との付き合いかた、意思表示の仕方などについて、男性と女性がそれぞれ違う考え方を持っていることによると考えてよいのであろう。

## 終わりに

このアンケート調査は外国語専攻の大学生を対象に行ったものであり、ここから社会全体の使用実態を把握できないけれども、呼称語の使用状況の一端、そして、これから変移していく傾向を示しているのではないかと思われる。今後、大学生に限らず、ほかの分野の若者、他の年齢層についても、さらに広く調査を行い、呼称語の変化に注目していきたいと思う。

## 注

- 1) 1994 年と 1999 年二回の調査対象の人数は、それぞれ 50 人。そのうちわけは女子学生：40 人；男子学生：10 人。
- 2) 陈建民 「语言与文化面面观」  
（《文化与交际》胡文仲 外语教学与研究出版社 1994）

## 参考文献

- 林鸣 「称谓变迁再变迁」《北京晚报》1999 年 9 月 8 日  
徐静茜 「从《红楼梦》人物的对称看当时的社会文化」  
（《语言与文化的多学科研究》 陈建民 北京语言学院出版社 1993 年）  
素虹 「亲属称谓的特殊现象」《汉语学习》1991 年第 6 期  
陈建民 「语言与文化面面观」  
（《文化与交际》胡文仲 外语教学与研究出版社 1994）  
小林美恵子 「学校の呼称」（《日本語学》明治書院 1998, 8）  
渡辺友左 「『呼称』という論点」（《日本語学》明治書院 1998, 8）  
《中日大辞典》 愛知大学中日大辞典編纂処 大修館書店  
1986 年増訂版；1992 年増訂第 2 版  
《现代汉语词典》中国社会科学院语言研究所词典编辑室 商务印书馆  
1983 年第二版；1996 年第三版